**概要原稿の書き方**

**帝都大学理工A, 日本科技大理工B**

**中性子太郎A,　物性花子B**

**How to Write an Abstract**

**A*Dept. of Phys. Teito Univ.,* B*Dept. of Phys. Nihon Univ. of Tech.***

**T. ChuseishiA and H. BusseiB**

この講演概要原稿はワ－プロソフトWordを使い、ページレイアウトはA4縦で設定している。タイトルは16ポイントのゴシックを更に太く（ボールド）、所属・氏名は14ポイントのゴシック(ボールド）、英語表記の所属・氏名は14ポイントのTimes New Roman(ボールド）、所属はイタリックを用いている。本文は12ポイントの明朝体、本文中の英数字はTimes New Romanを使用している。一行の文字数と行数は、横36字(標準の字送り)×縦37行と設定している。最終判断は著者にあるので、多少の違いはあっても結構である。

ただし、

* タイトル、所属、氏名、英語表記は上記のような配置で記載
* 枠はつけない。
* 原稿はフォントを埋め込んだPDFの提出。
* 1ファイルは2MB以下。

以上のことは、守って頂きたい。



図：物性研究所のマーク